



■■■ 報道関係者各位

2006年5月1日

中大生が制作する地域再発見番組「多摩探検隊」が、5月で放送開始2周年を迎えます！
これにあわせ、ポッドキャスト（映像配信）とマップサービスを開始します！

中央大学 FLP ジャーナリズムプログラム
「多摩探検隊」Web2.0 プロジェクト

中央大学の学生が制作し多摩地区 CATV 5局で放送中の地域再発見番組「多摩探検隊」が、5月で放送開始から2周年を迎えます。大学生が CATV 5局でレギュラー番組を持っていることも全国で唯一ですが、2周年を迎えるのも全国で初めてです。

また、この放送開始2周年を迎えたことを記念して、携帯端末 ipod 向けに映像の「ポッドキャストサービス」を開始すると同時に、Web 上でも「多摩探検隊撮影マップサービス」をあわせて開始します。

これまでレギュラー番組の音声だけの配信はありましたが、CATV のレギュラー番組を映像でポッドキャスト（映像配信）するのは全国でも初めてです。ipod に動画ファイルを取り込むことにより、「多摩探検隊」を「いつでも、どこでも」見ることが可能になります。

さらに、番組「多摩探検隊」で撮影を行った場所を地図上で表示する「多摩探検隊撮影マップサービス」も開始します。これは、番組と地図の合体により新たな情報発信の土台作りを行い、地域活性化やコミュニケーションへとつなげることを目指しています。

「多摩探検隊」(<http://www.tamatan.tv>)とは

「多摩探検隊」は10分間の地域密着型情報番組で、多摩地域のケーブルテレビ5局ネットで放送しています。制作しているのは、中央大学 FLP ジャーナリズムプログラム・松野良一ゼミの学生です。「多摩探検隊」は、企画、取材、撮影、編集、パッケージ化のすべてを学生が行っています。ポリシーは、東京キー局が扱わない多摩地域に埋もれている話題、人物、物語を掘り起こし、それにまつわる感動を伝えていこうというものです。現在は CATV 5局（多摩テレビ、多摩ケーブルネットワーク、八王子テレメディア、日野ケーブルテレビ、マイ・テレビ）で放送中。大学生がゼミ活動でレギュラー番組を制作しているのは、日本で「多摩探検隊」だけです。

【本件に関するお問い合わせ】

中央大学 FLP ジャーナリズムプログラム

「多摩探検隊」制作プロデューサー 藤井智子（法学部3年） 090-7707-5505
Web2.0 プロジェクトリーダー 森友香梨（総合政策学部3年） 080-5480-6745